



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場取引所 東名福

上場会社名 株式会社ブリヂストン

コード番号 5108 URL <http://www.bridgestone.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO 兼 取締役会長 (氏名) 津谷 正明

問合せ先責任者 (役職名) 資金部長 (氏名) 中村 賢史

TEL 03-6836-3100

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	2,665,106	2.3	342,468	7.4	339,048	9.3	225,670	15.2
25年12月期第3四半期	2,606,056	17.1	318,928	56.1	310,161	57.6	195,858	69.0

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 220,909百万円 (△36.3%) 25年12月期第3四半期 347,065百万円 (146.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	288.17	287.83
25年12月期第3四半期	250.19	249.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	3,633,680	2,026,593	54.0
25年12月期	3,577,045	1,862,963	50.5

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 1,962,377百万円 25年12月期 1,805,285百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	27.00	—	30.00	57.00
26年12月期	—	40.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,650,000	2.3	475,000	8.4	454,000	4.4	293,000	45.0	374.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期3Q	813,102,321 株	25年12月期	813,102,321 株
-----------	---------------	---------	---------------

② 期末自己株式数

26年12月期3Q	29,963,970 株	25年12月期	30,115,568 株
-----------	--------------	---------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期3Q	783,103,443 株	25年12月期3Q	782,829,415 株
-----------	---------------	-----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当該資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。従って、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性もあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

① 業績全般

	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減	
			金額	比率
	億円	億円	億円	%
売上高	26,651	26,060	+590	+2
営業利益	3,424	3,189	+235	+7
経常利益	3,390	3,101	+288	+9
四半期純利益	2,256	1,958	+298	+15

当第3四半期連結累計期間(2014年1月1日から2014年9月30日)の当社グループを取り巻く環境は、為替は円安に推移する中、国内においては、景気は経済・金融政策の効果などを背景に、消費税率引上げに伴う駆け込み需要とその反動があったものの、緩やかな回復傾向が見られました。海外においては、景気は全体として弱い回復が続いており、米国では個人消費の増加などにより緩やかな回復が続きました。欧州においては持ち直しの動きがあるものの地政学リスクの影響も見られました。また、アジアでは、中国やインドにおいて景気の拡大テンポの鈍化が続き、タイにおいては経済の停滞が続きました。

このような状況のもとで、当社グループは、グループ経営の最終目標である「真のグローバル企業」、「業界において全てに『断トツ』」の達成に向け、市場の需要動向や競合の動向を「先読み」し、技術優位性の強化やイノベーションの促進を通して、グローバルで高い競争力を持つ商品・サービスの拡販、単なる商品単体の販売に終わらないビジネスモデルの構築・拡大などに一層の努力を続けてまいりました。さらに、当社グループが戦略商品と位置付ける商品の拡販や、供給能力の増強、生産性の向上、経営資源の効率的活用、そして環境対応商品・事業の展開をより迅速に実行してまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は26,651億円(前年同期比2%増)となり、営業利益は3,424億円(前年同期比7%増)、経常利益は3,390億円(前年同期比9%増)、四半期純利益は2,256億円(前年同期比15%増)となりました。

② セグメント別業績

		当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減	
				金額	比率
タイヤ部門	売上高	22,347 億円	22,116 億円	+230 億円	+1 %
	営業利益	3,105	2,902	+203	+7
多角化部門	売上高	4,423	4,055	+368	+9
	営業利益	319	286	+32	+12
連結 合計	売上高	26,651	26,060	+590	+2
	営業利益	3,424	3,189	+235	+7

タイヤ部門では、グローバルにおいて魅力ある新商品の投入や、戦略商品として当社グループが位置付ける分野やスペック最適化などの基盤競争力の強化を進め、また、地域ごとの需要変動に迅速に対応してまいりました。

日本では、消費税率引上げに伴う駆け込み需要などにより、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、前年同期を上回り順調に推移し、トラック・バス用タイヤの販売本数は、前年同期を大幅に上回りました。米州では、北米タイヤ事業において、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、前年同期を上回り順調に推移し、トラック・バス用タイヤの販売本数は、前年同期を上回り好調に推移しました。欧州では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、前年同期並に推移し、トラック・バス用タイヤの販売本数は、前年同期を上回り堅調に推移しました。アジア・大洋州では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、前年同期並に推移し、トラック・バス用タイヤの販売本数は、前年同期を上回り堅調に推移しました。中国では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、前年同期を上回り好調に推移し、トラック・バス用タイヤの販売本数は、前年同期を下回りました。特殊タイヤについては、建設・鉱山車両用ラジアルタイヤの販売量は、鉱山でのタイヤ在庫調整などによる需要回復遅れの影響により前年同期を下回りました。

この結果、売上高は22,347億円(前年同期比1%増)となり、営業利益は3,105億円(前年同期比7%増)となりました。

また、多角化部門では、売上高は4,423億円(前年同期比9%増)となり、営業利益はBSAM多角化及び国内事業における利益増加の影響により319億円(前年同期比12%増)となりました。

(注) セグメント別の金額はセグメント間の取引を含んでおり、連結合計の金額はそれらを消去した後の数値であります。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

(資産の部)

資産の部は、有価証券が489億円減少したものの、商品及び製品が437億円、有形固定資産が727億円、それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ566億円増加し、36,336億円となりました。

(負債の部)

負債の部は、短期借入金が166億円増加したものの、米国独占禁止法関連引当金が447億円、未払金が540億円、退職給付引当金が323億円、それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,069億円減少し、16,070億円となりました。

(純資産の部)

純資産の部は、配当金の支払いにより548億円、その他有価証券評価差額金が366億円、それぞれ減少したものの、四半期純利益の計上により2,256億円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,636億円増加し、20,265億円となりました。その結果、自己資本比率は54.0%となり、前連結会計年度末に比べ3.5ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回発表時(2014年8月8日)の予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の見積実効税率に基づき計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2014年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	286,558	327,062
受取手形及び売掛金	528,465	510,129
有価証券	152,161	103,178
商品及び製品	354,370	398,158
仕掛品	37,353	40,115
原材料及び貯蔵品	165,379	162,422
その他	204,965	198,384
貸倒引当金	△11,871	△11,697
流動資産合計	1,717,383	1,727,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	414,442	473,755
機械装置及び運搬具（純額）	454,423	499,350
その他（純額）	466,193	434,664
有形固定資産合計	1,335,060	1,407,770
無形固定資産	46,826	66,255
投資その他の資産		
投資有価証券	320,954	278,204
その他	162,399	159,295
貸倒引当金	△5,578	△5,600
投資その他の資産合計	477,774	431,899
固定資産合計	1,859,661	1,905,925
資産合計	3,577,045	3,633,680

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2014年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	188,693	200,478
短期借入金	216,660	233,331
1年内償還予定の社債	63,794	—
リース債務	1,093	1,152
未払法人税等	54,571	47,757
米国独占禁止法関連引当金	44,790	—
リコール関連引当金	21,132	12,879
国内生産体制再編引当金	8,582	2,826
未払金	170,235	116,159
その他	289,731	294,051
流動負債合計	1,059,285	908,637
固定負債		
社債	50,000	120,000
長期借入金	221,384	225,111
リース債務	11,342	11,160
退職給付引当金	236,747	204,422
その他	135,321	137,754
固定負債合計	654,795	698,449
負債合計	1,714,081	1,607,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	126,354	126,354
資本剰余金	122,865	123,008
利益剰余金	1,597,140	1,767,996
自己株式	△56,644	△56,363
株主資本合計	1,789,714	1,960,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200,703	164,068
繰延ヘッジ損益	△1,092	△1,745
為替換算調整勘定	△86,177	△62,634
在外会社の退職給付債務等調整額	△97,863	△98,306
その他の包括利益累計額合計	15,570	1,382
新株予約権	1,621	1,945
少数株主持分	56,057	62,269
純資産合計	1,862,963	2,026,593
負債純資産合計	3,577,045	3,633,680

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年9月30日)
売上高	2,606,056	2,665,106
売上原価	1,662,489	1,665,532
売上総利益	943,567	999,573
販売費及び一般管理費		
販売運賃	110,237	111,046
広告宣伝費及び販売促進費	79,041	86,782
給料手当及び賞与	166,967	175,274
退職給付費用	14,366	14,049
減価償却費	20,432	21,525
研究開発費	65,297	67,205
その他	168,295	181,222
販売費及び一般管理費合計	624,639	657,105
営業利益	318,928	342,468
営業外収益		
受取利息	3,870	3,962
受取配当金	5,601	6,404
雑収入	13,642	14,928
営業外収益合計	23,114	25,294
営業外費用		
支払利息	11,515	11,131
為替差損	5,174	5,035
雑損失	15,190	12,547
営業外費用合計	31,880	28,714
経常利益	310,161	339,048
特別利益		
固定資産売却益	4,360	5,641
投資有価証券売却益	—	5,167
特別利益合計	4,360	10,809
特別損失		
国内生産体制再編費用	5,226	—
欧州生産体制再編費用	4,655	—
特別損失合計	9,881	—
税金等調整前四半期純利益	304,640	349,858
法人税等	99,702	117,141
少数株主損益調整前四半期純利益	204,938	232,716
少数株主利益	9,080	7,046
四半期純利益	195,858	225,670

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	204,938	232,716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56,118	△36,640
繰延ヘッジ損益	386	△451
為替換算調整勘定	85,094	26,434
在外会社の退職給付債務等調整額	483	△401
持分法適用会社に対する持分相当額	43	△748
その他の包括利益合計	142,126	△11,807
四半期包括利益	347,065	220,909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	335,909	211,482
少数株主に係る四半期包括利益	11,155	9,426

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2013年1月1日 至 2013年9月30日)

(単位：百万円)

	タイヤ	多角化	計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	2,209,297	396,759	2,606,056	—	2,606,056
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,365	8,774	11,140	△11,140	—
計	2,211,663	405,533	2,617,197	△11,140	2,606,056
セグメント利益(営業利益)	290,238	28,603	318,841	86	318,928

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

当第3四半期連結累計期間(自 2014年1月1日 至 2014年9月30日)

(単位：百万円)

	タイヤ	多角化	計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	2,232,042	433,064	2,665,106	—	2,665,106
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,666	9,332	11,998	△11,998	—
計	2,234,708	442,396	2,677,105	△11,998	2,665,106
セグメント利益(営業利益)	310,553	31,900	342,453	14	342,468

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。